

浪費から清貧への転換 可能か？

東京大学医学研究科
生命倫理学特任教授
加藤尚武

目次

- 第1部、持続可能性とは何か
- 第2部、経済学は有効か
- 第3部、清貧の思想
- 第4部、生活の現場で

第1部、持続可能性とは何か

1、21世紀の動向／進歩から成熟へ

- 「世界全体の経済成長が進行する」→「世界全体では定常化に向かうが部分的には経済成長が可能だ」
- 十九世紀には哲学者の夢であった進歩が二十世紀の先進資本主義国では現実となった。
- 進歩・経済成長の限界が、一九七〇年頃からはっきりと見えてきた。資源の限界、廃棄物の累積

2、デイリーの三条件の1、 循環型資源の利用

- 1、土壌、水、森林、魚など再生可能な資源の持続可能な利用速度は、再生速度を超えるものであってはならない。(たとえば魚の場合、残りの魚が繁殖することで補充できる程度の速度で捕獲すれば持続可能である。)→
循環資源の収穫一定

3、循環型資源への現実的対応

- a. 一時的に再生可能な限界にちかづく危険な状態があったとしても長期的には収穫一定にする
- b. いったん絶滅した生物種の再生は不可能だから、絶滅ゼロを目標とする

4、デイリー2、枯渇型資源の利用

- 化石燃料、良質鉱石、[地層に閉じこめられていて循環しない]化石水など、再生不可能な資源の持続可能な利用速度は、再生可能な資源を持続可能なペースで利用することで代用できる限度を超えてはならない。(石油使用を例にとると、埋蔵量を使い果たした後も同等量の再生可能エネルギーが入手できるよう、石油使用による利益の一部を自動的に太陽熱収集器や植林に投資するのが、持続可能な利用の仕方ということになる。)→化石資源の自然備蓄一定

5、枯渇型資源の劣等生用シナリオ

- a.地球全体のエネルギー備蓄を歴史的な規模では減少させる結果になるが、それ以後の産業の維持に必要なエネルギー資源は循環型資源に転換する
- b.エネルギー資源は本質的に転換可能であるが、金属資源は本質的に転換不可能である→循環的使用

6、デイリー3、汚染と浄化速度

- 汚染物質の持続可能な排出速度は、環境がそうした物質を循環し吸収し無害化できる速度を超えるものであってはならない。(たとえば、下水を川や湖に流す場合には、水生生態系が栄養分を吸収できるペースでなければ持続可能とはいえない。)(メドウズ「限界を超えて」茅陽一監訳、ダイヤモンド社、56頁)→地球の清潔度一定

7、浄化速度の劣等生用シナリオ

- 地球全体の汚染度を歴史的な規模では増大させる結果になるが、生物の健康が維持される限度にとどめて、それ以後の産業の維持に必要な廃棄物は累積を回避するようにする

8、結局、持続可能性とは

- a. 枯渇型の資源への依存からの脱却
- (エネルギーは再生型資源へ、
- 金属は循環型使用へ)
- b. 廃棄物累積の回避
- c. 生物種の絶滅回避

8、乱世をまたず、政にて山茂り 川深くなることあらんか

- 熊沢蕃山1619-1691「山川は国の本なり。近年、山荒れ、川浅くなれり。これ国の大荒なり。昔よりかくのごとくなれば、乱世となり、百年も二百年も戦国にて人多く死し、その上、軍兵の扶持米難儀すれば、奢るべき力もなく、材木、薪をとること格別少なく、堂寺を作ることもならざる間に、山々もとのごとく茂り、川々深くなるといへり。乱世をまたず、政にて山茂り川深くなることあらんか。」(熊沢蕃山『大学或問』、日本思想体系、岩波書店、三〇巻、四三二頁)→指導性のある政策の必要

9、補完的循環経済から 完全循環経済へ

- 補完的循環経済→ 生産・供給・流通という動脈の流れと、回収・再利用化・廃棄という静脈の流れとが、別々の企業体によって維持され、全体として補完的な構造になっている。3R(reduce,reuse,recycle)
- 完全循環経済→生産・供給者は、流通と消費の過程を経てきた、生産物を回収し、再利用化・廃棄する責任を負う。動脈の流れと静脈の流れとが、同一の企業体によって維持され、循環的な構造になっている。(拡大された製造者責任・サプライチェーン・マネジメント)

第2部、経済学は有効か

10、拡張志向から知足へ

- 格差拡大型社会では、つねに現在よりも高い生活水準が目先にあり、枯渇感・焦燥感がある。進歩の魔力は、配分問題を回避するところにあった。すべての資源が有限であり、その中で取り合いをすれば、厳しい競争となる。ところが、「明日になれば、パイはもっと大きくなる。おまえの取り分は相対的には小さくなるが、絶対的にはまだまだ大きくなる」と期待を抱かせ、パイを大きくすることによって配分問題の厳しさを回避してきたのが、進歩という理念の最大のメリットだった。

11、財の顕示的消費

- おのおのの階層に属する人々は、彼らよりも一段上の階層で流行している生活図式こそ自己の理想的な礼儀作法だと認識した上で、生活をこの理想に引き上げるために全精力を傾注する。高度に組織化されたあらゆる産業社会では、立派な評判を得るための基礎は、究極的に金銭的な力に依存している。金銭的な力を示し、高名を獲得したり維持したりする手段が、閑暇であり財の顕示的消費なのである。(ヴェブレン「有閑階級の理論」高哲男訳、ちくま学芸文庫、99頁)

12、欲望の無限

- 消費者が数量ではなくて多様性を求めているかぎり——、消費者は、博物館が物を蓄積するのと同じように、その欲望の強さを減ずることなしに欲望を蓄積している。普通の消費者は、彼が所有する可能性のある物のうちのほんの一部分しか現実には所有していないのだから、新しいいろいろな物を所有するチャンスはほとんど無限にある。消費者の目をひく財貨の種類は多く、またますます多くなっていくので、欲望の重要性には変りがない。(ガルブレイス「ゆたかな社会」)

13、絶対的な必要と相対的な必要

- 「人類の必要には二つの種類がある。他人がどうであろうと自分はそれがほしいという絶対的な必要と、それを満足させれば他入よりも偉くなった気がするという意味で相対的な必要との二つである。」(ケインズ)

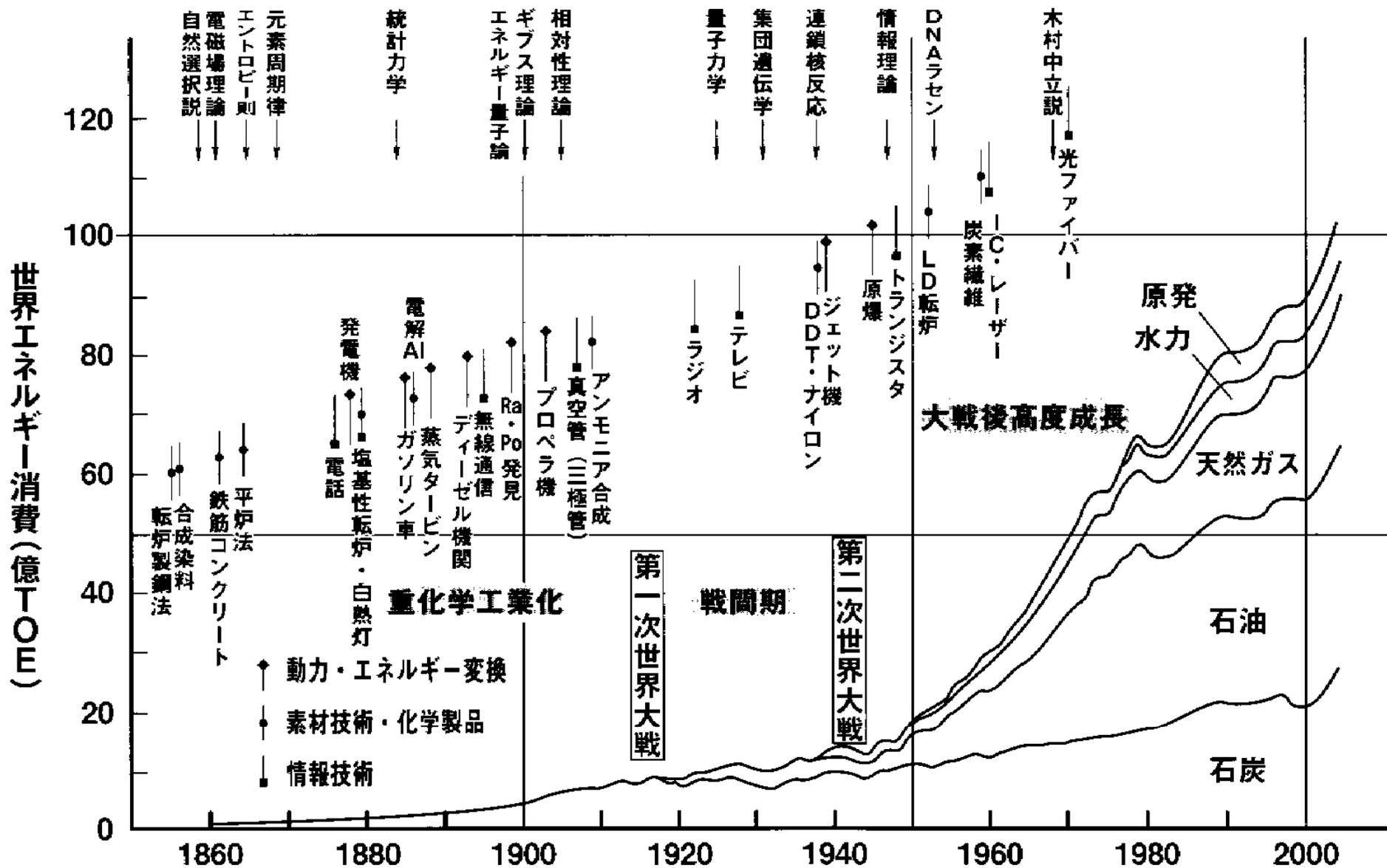


図2 世界エネルギー消費と主要な科学技術的発明・発見の年代

15、必需品と贅沢品の区別

- 経済学は財貨に関するものだが、その財貨について判断を下す権利はない。財貨が必要なものか不必要なものか、重要なものか重要でないか、というようなことは、経済学の領域には人らない。いっそう多くの食料がほしいという欲望は正しく、もっと高価な自動車がほしいという欲望は軽薄である、というようなことをいいたくなる人は、経済学の訓練が全然なっていないとされてしまう。(ガルブレイス「ゆたかな社会」)

16、禁欲の強制は成功しない

- 2007年3月13日、イギリスのブレア首相が「2050年までに60%削減する」という数値目標を達成するように国民に法律的に義務づける法案を発表。
- 「イギリスが法的拘束力のある目標を定める最初の国になる」(UK to become first country to set legally binding targets)

17、戦時統制経済のイメージ

- 各家庭に「炭素カード」(carbon card)が配布されてエネルギー消費量が追跡され、割当量を超えると電灯が消えてしまう
- トイレや浴槽の水 (grey water) のリサイクルが行われ、無料の肥料として排水 (human sewage) が使われる
- 車は、電気自動車や水素自動車に置き換えられる
- 家族で休暇をスペインで過ごすことが外国旅行として禁止される

第3部、清貧の思想

18、加島祥造「求めない」

- 「自分全体」の求めることは
- とても大切だ。ところが
- 「頭」だけで求めると、求めすぎる。
- 「体」が求めることを「頭」は押しのけて
- 別のものを求めるんだ。
- しまいに余計なものまで求めるんだ。
- じつは
- それだけのことなんです、
- ぼくが「求めない」というのは
- 求めないですむことは求めないってことなんだ。

19、中野孝次「清貧の思想」1992

- 人間の向上欲には限りがなく、一つの段階が実現されるとそれに満足していないでさらに上を望む。衣食住すべての点でもっと上等をと欲したばかりでなく、今度は新たにステレオを、ピアノを、クルマをと欲望の対象も増えていきました。街には商品が溢れだし、クルマでも電気機器でも住宅でも次から次へ新製品が作られ、魅力的な広告によってわれわれの欲望を刺戟してしましましたから、そのころからわれわれは絶えざる欲望のとりこになって、新製品を追いつづけて来たような気がします。そしてわれわれはただの人間ではなく消費者という名で呼ばれるようになっていきました。

20、ヴァグネル「簡素な生活」1895

- 「不幸にして素朴さは無くなりつつあります、庶民のあいだからさえ無くなりつつあります。われわれは都会の民衆が、そしてそれに次いで田舎の民衆が、よい伝統を棄てるのを見ています。アルコールや、賭博熱や、不健全な読書のために腐敗させられた精神は、次第次第に病的な趣味を持つようになります。かつては簡素だった環境にも不自然な生活が侵入して来ます。そうなれば葡萄の木が虫に食われはじめたようなものです。質朴なよろこびのたくましい木もその樹液が潤れ、その葉が黄ばんでしまいます。」シャルル・ヴァグネル「簡素な生活」大塚幸男訳、講談社学術文庫

21、古風な田園の祭

- 「よい古風な田園の祭を、自ら近代化されたと称する村祭と比べてごらん下さい。一方では、むかしながらの慣習の枠を守って、頑健な田舎びとたちが郷土の唄を歌い、農民の衣裳をつけて郷土の踊りを踊り、自然のままの飲みものを飲んで、満足しきっているように見えます。彼らは、鍛冶屋が鍛え、滝が落ち、若駒が牧場ではね回るように、楽しみます。その楽しい気分はそれを見ている人々にもうつり、人々の心を浮き立たせます。我にもあらず人々は、「うまいぞ、子供たち! そうだ、そうだ!」とひとりごとをいい、仲間に入れてくれと頼むでしょう。」シャルル・ヴァグネル「簡素な生活」大塚幸男訳、講談社学術文庫

22、簡素な知的生活

- a. 分かりやすい言葉を使う、こけおどしの難解さ、カタカナ、略号などみなこけおどしの無駄、情報の無駄をなくせ
- b. 目先の変化を求めるな、目先の新しさを信じるな

23、柳宗悦の「健康な美しさ」

- 実用品は一家の中の働き手なのであります。裏からいえば働くことを厭うものや、働きに堪えないようなものは実用品の値打ちがないであります。働くものは弱い体を有ってはいられません。また不親切な心を有ってもいけません。荒い仕事にも堪えるだけの丈夫な体と、忠実に仕えたいという篤い志とを兼ね備えていなければなりません。(以下引用は「手仕事の日本」岩波文庫234-238)

24、単純さ

- 「有難いことには、健康な性質の品物は、自から単純な形を取ることです。もし複雑な姿をしなければ美しくならぬとするなら、どんなに都合が悪いでしょう。込み入った装いのものよりは、単純なものの方に、かえって美しさが現れるようにしてあります。何も複雑なものが直ちに醜いものとはいえないでしょうが、単純なものの方に恵みは多く降り注がれているのであります。単純さと健全さとは極めて深い間柄にあります。日本で深い美の姿として、いつも讃えられる「渋さの美」は、要するに単純な姿を離れては存在しないのであります。」(同)

25、清貧論の罨

- セネカは、快樂の追求がどれほど愚かしいかという話をする。たしかに快樂をしつこく追求したり、特定の快樂にこだわったり、快樂の極限を求め、もっともっと充足したいと願って、かえって不幸になることはある。しかし、快樂の追求をすれば必ず不幸になるとは言えない。貧しくて卑しい人もいる。富を持って清らかな人もいる

26、清貧論の構造

- 物の豊かさが精神の貧しさを引き起こす。物の所有を豊かにするためには、精神の豊かさを犠牲にせざるをえない。快樂や名声や金銭を求めれば、精神の自立性、静けさ、余暇を失い、結局は自己を失う。真の自己充足は、名利を離れるということを自発的に追求する清貧のなかにある。

27、清貧論は強制できない

- ①独立不羈である。権力に屈服しない。金銭によって足下をすくわれたい。
- ②内面的な価値の純粹さ。それは自分の審美眼、鑑定能力、道徳的判断力、家族愛、信仰、信念など。永遠に達成不可能な価値ではなくて、清貧に生きる人の生き方のなかに現実化されている。
- ③高度の自己充足がある。良寛、一日子どもと手鞠をついて遊ぶ。橘曙覧、自分の子どもが「うまい、うまい」と言いながら魚を食っているさまを見る。「これでよし。世界は今完成している。瞬間よ、汝はあまりにも美しい。」
- ④悠久感の日常的な感得

第4部、生活の現場で

28、はかなさの美学を捨てよう

- ある建設技術の専門家の調査では、同年度の資産台帳に記載された住宅の半数が、取り壊される年数(住宅の除却年数)がアメリカで100年、日本で40年。住宅の代替わり周期(全住宅戸数を年間建設戸数で割った数字)がイギリス141年、フランス85年、ドイツ79年、アメリカ130年、日本30年。
- 住宅長寿国への転換が、二一世紀日本の課題のひとつになる。家について、はかなさの美学を棄てなくてはならない。

29、世代間関係の充実

- 二世世代家族、三世世代家族を生きやすくする
- 親から子へバトンタッチ
- 和服の伝承、無限に長い耐用年数

30、センス・オブ・ワンダー

- 子どもが元気で生き生きとしている
- 自然への愛が育つ教育
- 絶滅危惧品種の飼育

31、簡素な生活こそ豊かに

- 簡素な生活の豊かさを支える
- 必需品と贅沢品とを分けて、必需品の価格を安くする、公共料金
- 自転車です電車に乗れる

32、環境負荷の情報を得やすくする

- ドイツのCO₂計算表
- シャワーのお湯の温度35、40、45→一分間のCO₂、238、284、330
- 野菜1キロのCO₂、新鮮、強い冷蔵、保存冷蔵→450、450、1200
- 買い物、電力、暖房、交通についての具体的な比較表

33、まとめ

- 清貧は強制できない。簡素に生きることこそ、良い行き方だと言う方向付けを、精神論ではなくて、利益誘導で促す。
- 簡素なモノほど高級だか、低価格。公共料金、必需品の価格を安くする。
- 環境負荷を少なくする誘導には強制も含まれる。環境負荷の情報をゆたかに。